



## 平成23年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成22年11月9日

上場取引所 東大

上場会社名 青山商事株式会社

コード番号 8219 URL <http://www.aoyama-syouji.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長兼執行役員社長 (氏名) 青山 理

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役兼専務執行役員企画管理 (氏名) 宮武 真人  
本部長

TEL 084-920-0050

四半期報告書提出予定日 平成22年11月12日

配当支払開始予定日

平成22年11月26日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成23年3月期第2四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第2四半期	84,850	△1.0	2,404	△5.7	△707	—	△1,650	—
22年3月期第2四半期	85,680	△6.6	2,548	△50.8	△1,192	—	△1,991	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
23年3月期第2四半期	△25.96	—
22年3月期第2四半期	△31.32	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
23年3月期第2四半期	316,431	223,497	70.0	3,482.49
22年3月期	333,709	226,805	67.4	3,535.07

(参考) 自己資本 23年3月期第2四半期 221,421百万円 22年3月期 224,764百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
22年3月期	—	20.00	—	20.00	40.00
23年3月期	—	20.00	—	—	—
23年3月期(予想)	—	—	—	20.00	40.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

### 3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	196,000	0.7	14,500	△1.9	11,900	△11.4	4,600	△17.9	72.35

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.5「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む） 23年3月期2Q 67,394,016株 22年3月期 67,394,016株

② 期末自己株式数 23年3月期2Q 3,812,783株 22年3月期 3,812,701株

③ 期中平均株式数（四半期累計） 23年3月期2Q 63,581,274株 22年3月期2Q 63,581,962株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

なお、上記予想に関する事項については、四半期決算短信（添付資料）4ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

(参考) 個別業績予想

平成23年3月期の個別業績予想 (平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	164,500	2.0	13,100	0.7	11,100	△9.5	4,400	△9.7	69	20

(注) 個別業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	4
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. その他の情報	5
(1) 重要な子会社の異動の概要	5
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	5
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書	8
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
4. (参考) 四半期財務諸表 (個別)	10
(1) (参考) 四半期貸借対照表 (個別)	10
(2) (参考) 四半期損益計算書 (個別)	12
5. 補足情報	13
(1) スーツ事業の商品別売上高	13
(2) スーツ事業の店舗数	14

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

《セグメント別の概況》

(単位：百万円)

	紳士服 販売事業	カード 事業	商業印刷 事業	雑貨販売 事業	その他	消去 又は全社	合計
売上高	69,615	2,072	5,045	8,259	1,632	△1,775	84,850
営業利益又は 営業損失(△)	2,352	△52	△62	205	△234	196	2,404

(注) 1 上記のセグメント別売上高、営業利益(損失)はグループ内取引相殺前の数値であります。

2 これまで「紳士服販売事業」に含めておりましたカジュアルランドあおやま(株)は、当期から新会計基準の適用により「その他」に含めております。

＜紳士服販売事業＞ [青山商事(株)、ブルーリバーズ(株)、(株)エム・ディー・エス、(株)栄商]

当第2四半期連結累計期間(平成22年4月1日から平成22年9月30日まで)におけるわが国経済は、企業業績に一部回復傾向が見られるものの、依然として先行き不透明な状況が続きました。また、個人消費につきましても、社会保障に対する先行き不安や雇用回復の遅れなどから厳しい状況が続いております。

このような経営環境下、青山商事(株)につきましては、引き続き一都三県を中心とした着実な出店、移転を実施するなどマーケットシェア拡大を図るとともに、厳しい消費環境を踏まえ、「洋服の青山」全店において価格訴求を中心とした「総力祭」を実施するなど客数増加のための施策を積極的に実施いたしました。

その結果、当第2四半期まで(4月～9月)の既存店売上高は前年同期比99.7%となりました。

なお、4月から9月までの6ヶ月間のメンズスーツの販売着数は前年同期比100.9%の1,020千着となり、スーツの平均販売単価は前年同期比95.2%の23,739円となりました。

＜スーツ事業の既存店売上・客数・客単価の前年同期比推移＞

(単位：%)

	平成20年9月期	平成21年9月期	平成22年9月期
売上	95.3	91.1	99.7
客数	96.7	92.6	104.9
客単価	98.6	98.4	95.0

＜メンズスーツの販売着数並びに平均販売単価推移＞

	平成20年9月期	平成21年9月期	平成22年9月期
販売着数(千着)	1,075	1,011	1,020
平均販売単価(円)	25,363	24,936	23,739

店舗につきましては、当第2四半期まで(4月～9月)に「洋服の青山」において9店舗を出店(内3店舗は移転)し、非効率な1店舗を閉店いたしました。また、「ザ・スーツカンパニーズウィークエンド」は、1店舗を閉店し業態を解消いたしました。なお、平成22年9月末の店舗数は巻末の参考資料をご参照ください。

こうしたことから、紳士服販売事業の売上高は696億15百万円となり、営業利益は23億52百万円となりました。

<その他事業>

- ① カード事業につきましては、改正貸金業法等の影響などから、売上高20億72百万円、営業損失52百万円となりました。

なお、平成22年8月末現在の「AOYAMAカード」の有効会員数は371万人となりました。

<カード事業におけるAOYAMAカード有効会員数並びに営業貸付金残高の推移>

	平成21年8月期	平成22年2月期	平成22年8月期
有効会員数(万人)	366	370	371
営業貸付金残高(百万円)	53,583	49,326	43,613

- ② 商業印刷事業につきましては、既存取引先におけるチラシ等の受注高の増加などにより、売上高50億45百万円となりましたが、新規事業への先行投資等による経費増などにより、営業損失62百万円となりました。
- ③ 雑貨販売事業につきましては、他業態からの参入など業界の競争激化等により、売上高82億59百万円、営業利益2億5百万円となりました。

店舗につきましては、当第2四半期まで(3月～8月)に3店舗を出店し、非効率な2店舗を閉店いたしましたので、平成22年8月末の店舗数は129店舗(前年同期末134店舗)となりました。

- ④ 新会計基準の適用により、「紳士服販売事業」から除き「その他」に含めたカジュアルランドあおやま(株)につきましては、当第2四半期まで(4月～9月)の既存店売上高は前年同期比91.7%となりました。

店舗につきましては、当第2四半期まで(4月～9月)に「リーバイスストア」、「セカンドストリート」、「ジャンブルストア」をそれぞれ1店舗ずつ出店し、「キャラジャ」を3店舗閉店した結果、平成22年9月末の店舗数は32店舗となりました。(キャラジャ27店舗、リーバイスストア2店舗、セカンドストリート2店舗、ジャンブルストア1店舗)

<連結経営成績>

上記の結果、当第2四半期累計期間の当社グループにおける売上高は848億50百万円(前年同期比99.0%)、営業利益は24億4百万円(前年同期比94.3%)となりました。

営業外費用では、平成22年9月末の為替レートが平成22年3月末に比べ大幅な円高となったことなどにより「包括的長期為替予約契約(クーポンスワップ契約)」等に係るデリバティブ評価損24億35百万円(前年同期はデリバティブ評価損35億99百万円)を計上したことなどから、経常損失は7億7百万円(前年同期は経常損失11億92百万円)となりました。

特別損失では、紳士服販売事業等において、減損損失12億29百万円、資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額4億93百万円など合計17億72百万円を計上いたしました。

この結果、当第2四半期純損失は16億50百万円(前年同期は第2四半期純損失19億91百万円)となりました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末における資産について、流動資産は1,511億55百万円（前期末比213億36百万円減）となりました。これは主として、現金及び預金が10億53百万円、受取手形及び売掛金が50億13百万円、有価証券が101億94百万円、営業貸付金が57億12百万円それぞれ減少したことによるものであります。

固定資産は1,652億76百万円（前期末比40億58百万円増）となりました。これは主として、有形固定資産が18億81百万円減少いたしましたが、無形固定資産が3億91百万円、投資その他の資産が55億48百万円それぞれ増加したことによるものであります。

この結果、資産合計は、3,164億31百万円（前期末比172億77百万円減）となりました。

負債について流動負債は600億3百万円（前期末比82億47百万円減）となりました。これは主として、支払手形及び買掛金が19億51百万円、未払金が52億57百万円、短期借入金が12億25百万円それぞれ減少したことによるものであります。

固定負債は329億30百万円（前期末比57億22百万円減）となりました。これは主として、長期借入金が64億40百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は929億34百万円（前期末比139億69百万円減）となりました。

純資産合計については2,234億97百万円となり、前期末と比べ、33億7百万円の減少となりました。これは主として、四半期純損失16億50百万円の計上により利益剰余金が29億22百万円減少したことによるものであります。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

### <個別業績予想>

下期も引き続き一都三県を中心とした出店、移転を行うとともに、「洋服の青山」において積極的な販促施策を実施することなどにより、下期の既存店売上高は前年同期比101.0%（期初予想は前年同期比100.0%）と期初予想を上回る見込みであります。

一方、経費につきましては広告宣伝費を中心に期初予想を上回る見込みなどから、通期の営業利益は期初予想と同額（変更なし）となる見込みであります。

また、営業外損益では平成23年3月末の為替相場、日米金利差が平成22年9月末と不変であるとの前提のもとに、営業外費用としてデリバティブ評価損11億円（期初予想はデリバティブ評価益23億60百万円）を見込んでいることから、経常利益及び当期純利益は期初予想を下回る見込みであります。

この結果、通期の業績は、売上高1,645億円、営業利益131億円、経常利益111億円、当期純利益44億円と予想しております。

### <連結業績予想>

その他の事業につきましては、事業ごとに業績のバラつきはあるものの、その他の事業全体での売上高、営業利益は期初予想を下回る見込みであります。

この結果、通期の連結業績は、売上高1,960億円、営業利益145億円、経常利益119億円、当期純利益46億円と予想しております。

## 2. その他の情報

### (1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

### (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

#### 1. 簡便な会計処理

一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第2四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められる場合、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

#### 2. 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純損失に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

### (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。

これにより当第2四半期連結累計期間の営業利益は15百万円減少し、経常損失は15百万円、税金等調整前四半期純損失は500百万円それぞれ増加しております。また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は610百万円であります。



3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	30,293	31,347
受取手形及び売掛金	6,972	11,986
有価証券	24,273	34,468
商品及び製品	39,116	39,518
仕掛品	56	37
原材料及び貯蔵品	525	603
営業貸付金	43,613	49,326
その他	6,749	6,047
貸倒引当金	△446	△841
流動資産合計	151,155	172,492
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	124,384	122,922
減価償却累計額	△65,076	△62,260
建物及び構築物(純額)	59,308	60,662
土地	33,241	33,109
その他	20,563	19,120
減価償却累計額	△12,015	△9,913
その他(純額)	8,547	9,207
有形固定資産合計	101,097	102,978
無形固定資産	2,562	2,171
投資その他の資産		
敷金及び保証金	28,805	28,146
その他	32,833	27,947
貸倒引当金	△22	△26
投資その他の資産合計	61,616	56,067
固定資産合計	165,276	161,217
資産合計	316,431	333,709

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	13,537	15,488
短期借入金	9,100	10,325
1年内償還予定の社債	10,000	10,000
未払法人税等	578	2,063
賞与引当金	1,201	1,221
その他	25,586	29,152
流動負債合計	60,003	68,251
固定負債		
社債	19,000	19,000
長期借入金	4,000	10,440
退職給付引当金	3,463	3,395
ポイント引当金	2,682	2,767
その他	3,785	3,049
固定負債合計	32,930	38,652
負債合計	92,934	106,904
純資産の部		
株主資本		
資本金	62,504	62,504
資本剰余金	62,975	62,975
利益剰余金	126,046	128,968
自己株式	△12,247	△12,247
株主資本合計	239,279	242,201
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△248	170
土地再評価差額金	△17,609	△17,607
評価・換算差額等合計	△17,858	△17,437
新株予約権	327	246
少数株主持分	1,748	1,794
純資産合計	223,497	226,805
負債純資産合計	316,431	333,709

(2) 四半期連結損益計算書  
【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
売上高	85,680	84,850
売上原価	38,997	38,670
売上総利益	46,683	46,180
販売費及び一般管理費	44,134	43,775
営業利益	2,548	2,404
営業外収益		
受取利息	252	237
受取配当金	128	100
不動産賃貸料	174	252
その他	284	139
営業外収益合計	839	730
営業外費用		
支払利息	165	111
為替差損	—	1,288
デリバティブ評価損	3,599	2,435
その他	815	6
営業外費用合計	4,581	3,842
経常損失(△)	△1,192	△707
特別利益		
固定資産売却益	25	—
貸倒引当金戻入額	68	385
特別利益合計	93	385
特別損失		
減損損失	1,267	1,229
固定資産除売却損	228	49
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	493
特別損失合計	1,496	1,772
税金等調整前四半期純損失(△)	△2,595	△2,093
法人税等	△670	△443
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	—	△1,649
少数株主利益	66	0
四半期純損失(△)	△1,991	△1,650

(3) 継続企業の前提に関する注記

当第2四半期連結累計期間（自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日）

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第2四半期連結累計期間（自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日）

該当事項はありません。

4. (参考) 四半期財務諸表 (個別)

(注) この四半期財務諸表 (個別) は、四半期財務諸表等規則に基づき当社が任意で作成したものです。

(1) (参考) 四半期貸借対照表 (個別)

区分	当第2四半期会計期間末 (平成22年9月30日)		前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年3月31日)	
	金額(百万円)	構成比 (%)	金額(百万円)	構成比 (%)
(資産の部)				
I 流動資産				
1 現金及び預金		22,713		23,555
2 有価証券		24,273		34,468
3 商品及び製品		35,577		36,015
4 原材料及び貯蔵品		336		369
5 関係会社短期貸付金		15,450		21,000
6 その他		8,960		12,968
貸倒引当金		△2		△4
流動資産合計		107,309	39.3	128,372
II 固定資産				
1 有形固定資産				
(1) 建物	99,875		98,923	
減価償却累計額	△52,264	47,610	△50,414	48,509
(2) 土地		32,288		32,156
(3) その他	38,365		38,173	
減価償却累計額	△21,281	17,083	△19,973	18,200
有形固定資産合計		96,983		98,866
2 無形固定資産		2,229		1,887
3 投資その他の資産				
(1) 敷金及び保証金		28,030		27,369
(2) その他		38,695		33,777
貸倒引当金		△12		△12
投資その他の資産合計		66,713		61,134
固定資産合計		165,926	60.7	161,889
資産合計		273,235	100.0	290,261

区分	当第2四半期会計期間末 (平成22年9月30日)		前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年3月31日)	
	金額(百万円)	構成比 (%)	金額(百万円)	構成比 (%)
(負債の部)				
I 流動負債				
1 支払手形及び買掛金	10,713		12,224	
2 賞与引当金	1,084		1,065	
3 未払法人税等	310		1,866	
4 その他	23,954		29,413	
流動負債合計	36,062	13.2	44,570	15.4
II 固定負債				
1 長期借入金	4,000		10,000	
2 社債	10,000		10,000	
3 退職給付引当金	3,297		3,228	
4 ポイント引当金	2,670		2,757	
5 その他	3,223		2,626	
固定負債合計	23,191	8.5	28,613	9.8
負債合計	59,253	21.7	73,183	25.2
(純資産の部)				
I 株主資本				
1 資本金	62,504		62,504	
2 資本剰余金	62,975		62,975	
3 利益剰余金	118,090		120,849	
4 自己株式	△12,247		△12,247	
株主資本合計	231,322	84.7	234,082	80.6
II 評価・換算差額等				
1 その他有価証券 評価差額金	△248		170	
2 土地再評価差額金	△17,420		△17,420	
評価・換算差額等合計	△17,668	△6.5	△17,250	△5.9
III 新株予約権	327	0.1	246	0.1
純資産合計	213,981	78.3	217,078	74.8
負債純資産合計	273,235	100.0	290,261	100.0

(2) (参考) 四半期損益計算書 (個別)

【第2四半期累計期間】(参考)(個別)

区分	前第2四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)			当第2四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)		
	金額(百万円)		百分比 (%)	金額(百万円)		百分比 (%)
I 売上高		68,727	100.0		69,345	100.0
II 売上原価		28,871	42.0		28,994	41.8
売上総利益		39,855	58.0		40,350	58.2
III 販売費及び一般管理費		38,125	55.5		38,213	55.1
営業利益		1,730	2.5		2,137	3.1
IV 営業外収益						
1 受取利息	393			321		
2 受取配当金	351			323		
3 不動産賃貸料	291			365		
4 その他	171	1,207	1.8	70	1,080	1.5
V 営業外費用						
1 支払利息	147			98		
2 デリバティブ評価損	3,586			2,428		
3 為替差損	—			1,288		
4 その他	803	4,536	6.6	6	3,822	5.5
経常損失		△1,599	△2.3		△603	△0.9
VI 特別利益						
1 固定資産売却益	25			—		
2 貸倒引当金戻入額	—	25	0.0	2	2	0.0
VII 特別損失						
1 減損損失	1,016			1,126		
2 固定資産除売却損	219			48		
3 資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	1,235	1.8	438	1,614	2.3
税金等調整前四半期純損失		△2,809	△4.1		△2,215	△3.2
法人税等		△963	△1.4		△727	△1.1
四半期純損失		△1,846	△2.7		△1,487	△2.1

5. 補足情報

(1) スーツ事業の商品別売上高

(単位：百万円)

		前第2四半期 累計期間		当第2四半期 累計期間		前事業年度	
		自平成21年4月1日 至平成21年9月30日		自平成22年4月1日 至平成22年9月30日		自平成21年4月1日 至平成22年3月31日	
		金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
重衣料	スーツ・スリーピース	25,272	36.8	24,266	35.0	61,755	38.3
	ジャケット	2,862	4.1	2,931	4.2	5,999	3.7
	スラックス	4,309	6.3	4,370	6.3	7,315	4.5
	コート	71	0.1	121	0.2	4,900	3.0
	礼服	9,741	14.2	10,595	15.3	19,779	12.3
	小計	42,257	61.5	42,285	61.0	99,751	61.8
軽衣料	シャツ・洋品類	11,162	16.2	11,674	16.8	24,216	15.0
	カジュアル類	3,760	5.5	3,542	5.1	8,075	5.0
	その他商品	9,073	13.2	9,174	13.2	23,626	14.7
	小計	23,997	34.9	24,392	35.1	55,918	34.7
ポイント還元額		1,197	1.7	1,291	1.9	2,686	1.7
補正加工賃		1,274	1.9	1,376	2.0	2,967	1.8
合計		68,727	100.0	69,345	100.0	161,323	100.0

(注) 「その他商品」は、靴・肌着・雑貨・レディス等であります。



(2) スーツ事業の店舗数

(単位：店)

地 域	平成21年9月末 店舗数	平成22年9月末 店舗数	平成22年3月末		店舗数
			洋服の青山	ザ・スーツ カンパニー	
北海道	35	34	33	1	34
北海道地方計	35	34	33	1	34
青森県	9	9	9	0	9
岩手県	8	8	8	0	8
宮城県	13	13	12	1	13
秋田県	9	10	10	0	10
山形県	9	9	9	0	9
福島県	11	11	11	0	11
東北地方計	59	60	59	1	60
茨城県	19	17	17	0	17
栃木県	10	10	10	0	10
群馬県	15	15	14	1	15
埼玉県	41	41	39	2	40
千葉県	31	32	30	2	30
東京都	80	80	65	15	80
神奈川県	39	42	38	4	42
関東地方計	235	237	213	24	234
新潟県	18	18	17	1	18
富山県	7	7	7	0	7
石川県	8	8	7	1	8
福井県	5	5	5	0	5
山梨県	4	4	4	0	4
長野県	15	15	15	0	15
岐阜県	13	12	12	0	12
静岡県	26	26	25	1	26
愛知県	44	44	43	1	45
中部地方計	140	139	135	4	140
三重県	13	12	12	0	12
滋賀県	10	10	10	0	10
京都府	17	17	16	1	17
大阪府	43	45	43	2	44
兵庫県	39	40	38	2	40
奈良県	9	9	9	0	9
和歌山県	8	8	8	0	8
近畿地方計	139	141	136	5	140

(単位：店)

地 域	平成21年9月末 店舗数	平成22年9月末 店舗数	平成22年9月末		平成22年3月末 店舗数
			洋服の青山	ザ・スーツ カンパニー	
鳥取県	3	3	3	0	3
島根県	5	5	5	0	5
岡山県	11	11	10	1	11
広島県	22	21	19	2	21
山口県	11	11	11	0	11
中国地方計	52	51	48	3	51
徳島県	5	5	5	0	5
香川県	7	7	7	0	7
愛媛県	8	8	8	0	8
高知県	5	5	5	0	5
四国地方計	25	25	25	0	25
福岡県	29	30	29	1	29
佐賀県	8	8	8	0	8
長崎県	7	7	7	0	7
熊本県	10	10	10	0	10
大分県	9	9	9	0	9
宮崎県	10	10	10	0	10
鹿児島県	12	12	12	0	12
沖縄県	7	7	7	0	7
九州地方計	92	93	92	1	92
合 計	777	780	741	39	776

(注) 1 「ユニバーサル ランゲージ」(平成22年9月末で3店舗(東京都2店舗、神奈川県1店舗))は、「ザ・スーツカンパニー」に含めております。

2 「ザ・スーツカンパニーズ ウィークエンド」は、当期中に1店舗閉店し業態を解消いたしました。

3 店舗の出退店等の状況(平成22年4月～9月)

業態	出店	内 移 転		退店
		内 移 転	内 移 転	
洋服の青山	9	3		1
ザ・スーツカンパニーズ ウィークエンド				1
計	9	3		2